

ドローン デモンストレーション飛行の実施について(案)

千葉市の国家戦略特区の取組みのうち、「先端技術を活用したドローンによる宅配サービス・セキュリティ」の実現に向け、野波健蔵千葉大学特別教授全面協力の下、産業用ドローンの安全性をアピールするデモンストレーション飛行の実施を計画しております。

対象候補地

- ミラマール (UR都市機構:賃貸260戸)
- 打瀬3丁目公園 (市公園)



【当日実施条件】

- 雨天中止
- 平均風速5m/s以下で実施
※自律研ミニサーバイヤー自体は風に強く、風速8~10m/s程度であれば飛行できる性能は保有している

【安全対策】

- 国土交通省(航空局)の飛行許可を取得した上で実施
- 飛行ルートから30~50m以内は進入禁止エリアとする
- マンションのベランダには出ないで頂く
- 故障・異常を感知すると「自動帰還モード」で戻ってくる
(バッテリー不具合、姿勢が崩れた場合など)
- 万が一の事態に備え「ドローン保険」に加入
- 事前に予行演習を実施

【プライバシー対策】

- カメラは搭載しない (住民の皆様のプライバシー保護)



野波 健蔵 氏

工学博士。千葉大学大学院工学研究科工学部特別教授。日本における『マルチコプター(ドローン)開発』の第一人者。

2013年11月、千葉大学発ベンチャー「自律制御システム研究所」を設立し、代表取締役を務める。

